

オペラ“東欧改革”観劇と大躍進した日本人会

元日本人会会長（ジェットロウィーンセンター所長） 中西 英夫

ウィーンは東欧の最前線基地だった。1989年にポーランドから始まるオペラ“東欧改革”を最前列の席で緊張して観ることができた。ハンガリーの幕開けでハンガリー人や東独人が、また、10月の“ベルリンの壁崩壊”の後のチェコスロバキア人も、ウィーンへ流れ込んだ。最近の世界情勢で“東欧改革”ほど大きな変化を与えたものは無い。政治的变化は固より、経済社会変化への影響も大きかった。“市場経済主義への移行”はバブル期の日本企業が活動を拡大する好機となり、東欧の拠点であったウィーンに日本企業が一挙に進出してきた。

日本人会の法人企業会員も40数社だったのが、'91年には90数社と倍増した。これに伴い、駐在員家族が増え、日本人会が大きく躍進をする好機を迎えた。それは組織の強化と活動の充実へと動いた。

組織は、まず日本婦人会が日本人会に発展的吸収で一本化され、また、単なる任意団体ではなく、法律に基づく団体（Verein）として登録し、より充実した活動を展開できる基盤を強化した。

活動形態も従来の行事に加え、多くの日本人が一堂に会して楽しめる催事が期待された。それがソフトボール大会である（1991年）。当初チーム数が少ないのではと心配したが、それどころか会場制約から8チームに抑えるのに一苦勞するほどで、最初から人気沸騰である。チームは職業別に結成され、大使館、国連、日本人学校、商社・銀行、メーカー、アマダ、学生、ジェットロ・サービス業の8チームで、決勝戦で、日本人学校がジェットロ・サービス業を逆転して優勝した（参加者：約200人）。翌年の第2回では広い会場を確保し、より多くのチームが参加できるように工夫した。現在もこの大会が続いていると聞くが、北京オリンピックで日本ソフトボールチームが金メダルを獲得したように、私はこの大会を続けることが金メダルに値すると思っている。



ハイキング・ツアー（Furchstein城とRAX Alp. 1990. 5. 24）

勿論、日本人児童数も増え、日本人会とは組織として直接に関わりはしなかったが、約80名で満杯だった日本人学校も、古くなった校舎の危険性もあり、国連に隣接する土地を借りて日本人学校を新たに建立した。将来、250名規模になっても収容でき

る設計を行い、当初は150名規模で稼動することとした。

こんな拡大基調の中で、日本政府ウィーン国連代表部公邸のお披露目があった際、合唱の好きな連中が数人いることが分った。そこで、素晴らしい婦人部合唱団に圧倒されていた男性が“ウィーン中年合唱団”として立ち上がって拙宅で練習を開始した。すると、音楽留学生（主として指揮科）も半数程度加わり、充実した男声合唱団となった。そして、日本人会のX'mas会や総会の余興で、婦人部合唱団と共に、或いは合同で、合唱を楽しんだことが忘れられない。

また、1990年8月に起きたイラク軍のクエイト侵攻により、乗物による移動や日本人集会が要注意となった。そんな中で1991年2月日本人会総会（新年会）を行ったが、2年前にウィーンで撮影を行った寅さん「男はつらいよシリーズ：第41作“寅次郎心の旅路”」の上映もあって、多くの人達が参加した（参加者300余名）。とりわけ、音楽留学生の日本人会新規加入者が増えたのは印象的だった。

このように日本人会活動は大躍進していったが、単に日本人だけが閉鎖的に集うのではなく、喫日協会と合同で、オーストリアと日本の修好通商航海条約締結120周年記念イベントとしてドナウ川船旅を楽しんだり、X'mas Partyなどを行った。

このような交流は個人としても心掛けた。趣味の合唱を通じて喫人と交流を深めようと、ウィーン楽友協会合唱団に応募し（1990年中頃、“東欧改革”もやや静かになり、業務も落ち着いてきた時期）、オーディションを受けて入団することとなった。最初のステージでは最前列で歌わされ、来聴されていた長谷川大使に早速見つかってしまった。1992年8月に帰任したが、家族が1年留まったため1993年6月に引越し作業のため再びウィーンへ戻った際、再度楽友協会合唱団のメンバーとしてMV大ホールで歌ったことが忘れられない。その活動記録を冊子「ウィーン楽友協会合唱団と共に」としてまとめた。実は、その冒頭にオペラ「東欧改革」の章を設けたのは、音楽の都へ赴任しながらも当初音楽を楽しむ余裕が全くなく、その言訳けのために、リアルな歴史的オペラを観ていたのだ、と著した次第である。

ウィーンでの生活は、歴史的な大スペクタクルが展開される中で、多くの方達と楽しく交流し、生涯忘れられない充実した一幕となったが、これも日本人会の皆様方のご支援・ご協力があったからこそできたもので、ここに改めて感謝致すと共に、日本人会の益々のご発展を期待したい。

<中西 英夫>

JETRO ウィーンセンター所長（1989.6～1992.8）

ウィーン楽友協会合唱団団員（1990.10～1992.8）

UNIDO 東京事務所長（1999.1～2004.3）

